

西洋古代史研究

Acta Academiae Antiquitatis Kiotoensis

第 5 号

Tomus V

目 次

《 論 説 》

19世紀以降のドイツにおける古代史の発展

—その文化的・政治的背景から— ヴェルナー・エック (宮坂康寿訳) (1)

「生きた研究史」をめざして

—ヴェルナー・エック教授の講演に寄せて— 南 川 高 志 (17)

《フォーラム》歴史の交差路——現代・古代・表象

映／写し出されたローマ帝国 佐 野 光 宜 (23)

《 書 評 》

Astrid Dössel, *Die Beilegung innerstaatlicher Konflikte in den griechischen Poleis vom 5.-3.*

Jahrhundert v. Chr. Werner RIESS (33)

Michel Reddé, *Alésia: L'archéologie face à l'imaginaire* 疋 田 隆 康 (39)

David Frankfurter, *Religion in Roman Egypt: Assimilation and Resistance*

..... 中 道 嵩 行 (45)

編集後記 南 川 高 志 (51)

京 都 大 学

2005

本号の執筆者

ヴェルナー・エック	ドイツ、ケルン大学古代史教授
宮坂康寿	甲南大学非常勤講師（ドイツ中世史を専攻）
佐野光宜	京都大学大学院文学研究科博士後期課程 （ローマ史を専攻）
ヴェルナー・リース	アメリカ合衆国、ノースカロライナ大学助教授
正田隆康	京都大学大学院文学研究科博士後期課程 （ケルト史を専攻）
	フランス、École Pratique Des Hautes Études留学中
中道嵩行	京都大学大学院文学研究科修士課程（ローマ史を専攻）
南川高志	京都大学大学院文学研究科教授

編集後記

京都大学大学院文学研究科西洋史学専修の古代史分野のささやかな研究活動報告である本誌も、ようやく第5号を発行するところまでできました。これまで毎年3月に発行していましたが、今回より印刷所が混雑しない10月に発行することにいたしました。

さて、編集子がリーダーを務めるCOEプログラム所属の小研究会は、本年3月に国際シンポジウムを開催しましたが、その席上で報告されたヴェルナー・エック教授のご講演を、国際シンポジウム成果報告書から宮坂康寿氏による日本語訳の方だけを、本誌の巻頭に再録いたしました。また、エック教授の紹介をかねて、編集子のご講演に寄せて若干思いつくことを述べさせていただいております。ご検討いただければ幸いです。

「フォーラム」のコーナーでは、ローマ帝政期の社会史を本来の専門とする佐野光宜氏が、映画の中に描かれたローマ帝国を、関連書物の紹介を通じて検討しています。ローマ帝国やローマ皇帝は歴史以外でもさまざまな次元で取り上げられてきました。ごく最近でも、イギリスのガーディアン紙が「グラディエーター」の監督リドリー・スコット氏をアメリカ帝国主義との関連で性格付けられるか問題にしておりますし（*Guardian Weekly*, June 10-16, 2005）、日本のある政治家の口から、首相の政治手法を批判する例えとして、「処刑人と猛獣を戦わせてもあそんだローマ皇帝を思い出す」なる発言が飛び出したばかりです。ローマ史を古代そのものの研究としてだけでなく、近現代のローマ帝国やローマ皇帝の解釈やイメージをも絡めて考えることの重要性は、近年とくに強く訴えられていることですが、こうした映像を視野に入れると、ローマ史の広さ、面白さ、そして深刻さを改めて感じることができそうです。書評は力作を3点掲載できました。うち1点は、ドイツ、ハイデルベルク大学の古代史ゼミナールのスタッフからアメリカ合衆国に移り、現在ノースカロライナ大学の古典学科の助教授を務めているリース博士に寄稿していただきました。前号と今号はドイツの研究者の寄稿を掲載しておりますが、これは編集子の現在の研究が、ローマン・ブリテンを研究していた頃と異なって、重心をドイツに移動させ、ドイツの大学のスタッフとの研究交流を進めていることに関係しています。ただ、イギリスの研究者との交流も今後とも大切にしてゆくつもりです。来年度は古典学と哲学に關する京大文学研究科COE主催のシンポジウムをケンブリッジ大学で開催しようと、現在編集子は非力ながら準備に追われているところです。

（南川高志）

平成17年10月1日発行

西洋古代史研究 第5号

発行者 京都大学大学院文学研究科 南川高志

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

TEL. 075-753-2779

印刷 株式会社田中プリント

〒600-8047 京都市下京区松原通麴屋町東入
石不動之町677-2

TEL. 075-343-0006

Acta Academiae Antiquitatis Kiotoensis

The Kyoto Journal of Ancient History

Tomus V

Vol. 5

Articles:

- Die Entwicklung der Alten Geschichte in Deutschland seit dem 19. Jh. im kulturellen und politischen Kontext Werner ECK
 Japanese translation by Yasutoshi MIYASAKA (1)

- For “vivid history of historiography and scholarship”: some ideas based on the lecture given by Prof. Dr. Werner Eck Takashi MINAMIKAWA (17)

Discussion Forum: Crossroads of History—the Present, Antiquity and Representations

- Projected Empires Mitsuyoshi SANO (23)

Reviews:

- Astrid Dössel, *Die Beilegung innerstaatlicher Konflikte in den griechischen Poleis vom 5.-3. Jahrhundert v. Chr.* Werner RIESS (33)
- Michel Reddé, *Alésia: L'archéologie face à l'imaginaire* Takayasu HIKIDA (39)
- David Frankfurter, *Religion in Roman Egypt: Assimilation and Resistance* Takayuki NAKAMICHI (45)

- Editor's Notes Takashi MINAMIKAWA (51)

Kyoto University

2005